

Q 付 録

1. 三島市民憲章

わたくしたちは、箱根のふもと朝に夕に富士を仰ぐ恵まれた自然のなかに育った三島市民です。

わたくしたちは、三島市民であることに誇りと責任をもち、お互いのしあわせを願い、この憲章を定めます。

わたくしたち三島市民は、

- 1 自然を愛し きれいなまちをつくりましょう。
- 1 良い風習を育て 住みよいまちをつくりましょう。
- 1 文化をたいせつにし 豊かなまちをつくりましょう。
- 1 からだをきたえ 仕事にはげみ 明るいまちをつくりましょう。
- 1 平和を望み 友愛のあふれるまちをつくりましょう。

(昭和45年10月11日制定)

Q 付 録

2. 市の紋章、市の花及び市の木、市の鳥

市の紋章 (昭和16年4月29日制定)



本市の紋章は、三島神社の御紋章と富士山を兼ねて表したもので、中央の三線は三島の“三”の変形で清流を示しています。

つまり、富士山のそびゆる下、清流の湧き出て流れる、これを表現したものです。

市の花 〈三島桜〉 (昭和45年10月11日制定)



市の花「三島桜」は、昭和26年国立遺伝学研究所で染井吉野の起源を知るためのひとつの方法としてその実を集め、第1回目の実生実験をしました。

そして、これが成長開花した中に1本の美しい桜を生じました。

ときあたかも三島市の新庁舎が竣工したときであったので、これを記念して「三島桜」と命名しました。

Q 付 録

市の木 〈イチョウ〉 (昭和45年10月11日制定)



市の木「イチョウ」は、市制30周年を記念し市の花「三島桜」とともに制定されました。

現在、教育・文化施設がある文教町のイチョウ並木が代表的であり、街路樹として両側約800メートルにおよび百数十本が空高くそびえ、文教都市三島を象徴しています。

市の鳥 〈カワセミ〉 (平成13年4月29日制定)



市の鳥「カワセミ」は、市制60周年を記念し制定されました。

環境先進都市への取り組みのシンボルとして、郊外の清流だけでなく源兵衛川や清住緑地など市街地の水辺でも見ることができる美しい鳥であるカワセミが、市民多数の賛同により選ばれました。

Q 付 録

3. 都市宣言

三島市平和都市（核非武装）宣言決議（昭和34年12月21日決議）

平和と民主主義は太平洋戦争の敗戦による冷厳な犠牲の中から得ることのできた歴史的なものであります。

日本の永遠の平和と世界平和への寄与のために、一切の戦力を放棄し、永久に戦争に加わらないという日本国憲法をわれわれは持つことができたのです。

しかるに世界の情勢はややもすると軍事施設の強大に狂奔し、軍事的対立を深め、原水爆の出現とロケット兵器の発達は1秒間戦争の時代とまでいわれる、全く恐るべき全人類の破局を想わせるものがあります。

われわれは日本国憲法の明示する精神を体し誇りと自信を持って核非武装主軸とする戦争への一切の道を拒否し、6万三島市民と共に、平和への道を実に進むために、われわれの美しい郷土、三島市は核非武装平和都市であることを内外に宣言決議する。

昭和34年12月21日

三島市議会

交通安全都市宣言（昭和37年3月12日決議）

われわれが幸多き生活を送るための要諦は、安全なる日々を迎えることに始まる。

然るに、ここ数年来の交通禍は激増の一途をたどるのみであり、しかもその深刻なること、平和な家庭を瞬時にして破壊する等、全くわれわれの目を覆わしむるものがある。

殊に、わが三島市においては、景観をもって名だたる箱根山を経、輻湊した市街地に突入せる国道1号線のごとき、あたかも往時の天下の險を再現し、市民はわだちを接する車両に日夜生命の脅威ををさらしている。

かかる交通環境を打破し、市民生活の安全を確保することは、刻下の急務であり、今こそ全市一体となり、交通禍のきずなをたちきるよう、究極の努力を尽くすべきときである。

よってすべての市民こぞって、決意をこめ、ここに三島市を「交通安全都市」とすることを内外に宣言する。

昭和37年3月12日

三島市

Q 付 録

環境衛生都市宣言（昭和37年3月12日決議）

経済文化の発展した今日、環境の施設整備、浄化を図り、すべての国民は健康で文化的な生活を営み、公衆衛生の向上に努めなければならない。

然し乍ら、最近における都市の現況は、急激なる時代の進展に伴い環境汚染も甚だしく市民生活上憂慮に堪えないものがある。

このときにあたり、本市の現状を顧みれば、環境衛生の改善こそ焦眉の急務である。すなわち、塵芥、し尿の処理施設、並びに上下水道の整備、河川の清掃等、吾等は自ら立って、名実共に、清潔で住みよい郷土の建設を推進する。
右宣言する。

昭和37年3月12日

三 島 市

青少年健全育成都市宣言（昭和57年9月24日決議）

最近における青少年の非行問題の深刻化は、まことに憂慮すべき事態である。

次代を担う青少年を非行から守り、心ゆたかに育成することは、私たち市民の重大な責務と考える。

よって、本市は家庭、学校、地域及び行政が一体となって市民運動を推進することを決意し、ここに三島市を「青少年健全育成都市」とすることを宣言する。

昭和57年9月24日

三 島 市

健康都市宣言（平成元年9月19日決議）

健康は市民がしあわせになるための基本であり、活力溢れる充実した生活を営むための最も大切な財産です。

このかけがえのない財産を守り、市民こそって健康づくりを進めていくため、三島市は、ここに「健康都市」を宣言するとともに、次のことを提唱し、その実現に向けて邁進します。

- 1 運動に親しみ心身ともに健やかな体をつくりましょう。
- 2 家庭では規則正しい生活をし、進んで健診を受け、健康という財産を守りましょう。
- 3 快適な環境をつくり、だれにでも誇れる健康都市三島をつくりましょう。

平成元年9月19日

三 島 市

Q 付 録

地球温暖化防止都市宣言（平成10年3月24日決議）

私たちは、豊かで便利な生活を享受してきたが、近年、社会経済の変化の中で、地球の温暖化が急速に進行し、人類の生存基盤に大きな影響を及ぼすことが憂慮されている。

次の世代のために、私たちは、これ以上地球温暖化が進むことに、歯止めをかけなければならない。

平成9年12月に開催された地球温暖化防止京都会議では、温暖化防止のために、二酸化炭素を消滅する国際的枠組みが決められた。

現在、企業が排出する二酸化炭素の量は、ほぼ横ばいの状態である。

しかし、家庭からの排出量は増加傾向にあり、今後、これ以上温暖化が進むと、21世紀末までには、地球の平均気温が現在より約2度上がり、海面の上昇により日本の砂浜の約7割が消失すると言われている。

今こそ、市民一人ひとりが環境に配慮した生活（エコライフ）を実践することにより、地球温暖化防止を実現しなければならない。よって、本市は、市民・企業・行政が三位一体となって、地球温暖化防止を推進することを決意し、ここに三島市を「地球温暖化防止都市」とすることを宣言する。

平成10年3月24日

三 島 市

食育推進都市宣言（平成21年3月17日決議）

三島市民は、富士山麓や三島市民は、富士山麓や箱根西麓に広がる豊かな自然や風土に培われた食の恵みを楽しみ、郷土の食文化を守り育ててきました。

しかし、食生活の乱れや食の安全上の問題などにより健康への影響が生じており、また、食に感謝し、これを大切に作る心が失われつつあります。

今、市民一人一人が食育を推進し、健全な食生活を営むことが求められています。特に、子どもの豊かな人間性をはぐくむため、家庭の重要性を認識し、食を通じて、家族との触れ合いの場や礼儀作法を学ぶ機会を設けるように努めていくことが大切です。また、安心して消費できる安全な食料の確保のために地産地消を推進するとともに、環境に配慮した食生活を実践し、伝統的な食文化及び良好な環境を次世代に引き継いでいくことが必要です。

よって、本市は、市民が食を通じて健康で文化的な生活を送ることができるよう、食育を市民、事業者等と協働し、全市的な活動として推進することを決意し、ここに三島市を「食育推進都市」とすることを宣言します。

平成21年3月17日

三 島 市

Q 付 録

4. 名誉市民

市民又は市に縁故のある者で、自治の振興、公共の福祉の増進又は文化の発展に寄与し、その功績が卓絶し、市民から深く尊敬されているものに対して、三島市名誉市民の称号を贈り、その功績をたたえて顕彰するものである。現在、三島市の名誉市民は、佐野隆一氏、大岡信氏の二人である。

○ 佐野 隆一 氏 (1889 ~ 1977)

明治22年三島(久保町(現在の中央町))に生まれ幼少期を過ごす。

明治41年旧制葦山中学(現葦山高校)、明治43年東京高等工業学校(現東京工業大学)を卒業。大正14年鉄興社創立以来、日本カーボン(株)、東邦アセチレン(株)等の社長等を歴任し、産業界に大きな足跡を残した。

その後、郷土三島のために多額の浄財を寄附。市の教育・福祉・文化各方面の中核施設である佐野母子寮、緑町佐野保育園、佐野学園、佐野楽寿寮、各小学校プール、図書館、老人福祉センター等の建設や、佐野郷土振興基金設立などに活用されている。

また、昭和41年(財)佐野美術館を設立。多くの収集品も寄贈し、市の文化面の発展に大きく貢献した。

(昭和40年 勲二等瑞宝章受章)



○ 大岡 信 氏 (1931 ~ 2017)

昭和6年旧三島町(現在の三島市)田町奈良橋に生まれ、旧制沼津中学校(現沼津東高)卒業の16歳の時まで三島で過ごす。

昭和28年東京大学文学部を卒業後、昭和38年まで読売新聞社勤務、昭和45年から平成6年まで明治大学教授、東京芸術大学教授を務め、平成元年から5年まで日本ペンクラブ第11代代表を歴任し、詩人としてまた評論家として「ことば」による広範な文学活動で日本語の魅力を内外に広めることに多大な貢献をされ、日本の「文化大使」として高い評価を得た。

また、その著作は300を超え、「折々のうた」で第28回菊池寛賞を、「詩人・菅原道真」で第40回芸術選奨文部大臣賞を受賞するとともに、フランス政府芸術文化勲章オフィシエ、恩賜賞・日本芸術院賞などに輝き、平成9年には文化功労者として顕彰され、平成15年文化勲章を受章した。

なお、三島においては「文芸三島」に昭和53年の創刊号から平成28年発行の39号まで寄稿され、文芸を愛好する三島市民の心の支えとなっているとともに、郷土の文化芸術の振興に大きく貢献した。



Q 付 録

5. 歴代市長

(令和6年3月31日現在)

順代	氏名	就任期間
1	花島 周一	S. 16. 7. 27～S. 20. 7. 26
2	渡辺 知雄	S. 20. 7. 27～S. 21. 11. 29
3	原 国太郎	S. 22. 4. 6～S. 23. 12. 10
4	朝日 原作	S. 24. 2. 7～S. 28. 2. 6
5	松田 吉治	S. 28. 2. 7～S. 36. 2. 6
6	長谷川 泰三	S. 36. 2. 7～S. 52. 2. 6
7	奥田 吉郎	S. 52. 2. 7～H. 5. 2. 6
8	石井 茂	H. 5. 2. 7～H. 10. 11. 17
9	小池 政臣	H. 10. 12. 20～H. 22. 12. 19
10	豊岡 武士	H. 22. 12. 20～

6. 歴代市議会議長

(令和6年3月31日現在)

順代	氏名	就任期間	順代	氏名	就任期間
1	水口 善三	S. 16. 7. 17～S. 18. 7. 22	41	渡邊 立夫	S. 63. 6. 23～H. 1. 6. 22
2	池田 章	S. 18. 7. 22～S. 20. 7. 14	42	瀬川 芳孝	H. 1. 6. 22～H. 2. 6. 22
3	水口 善三	S. 20. 7. 15～S. 22. 2. 27	43	落合 義信	H. 2. 6. 22～H. 3. 4. 30
4	青木 浅次郎	S. 22. 2. 27～S. 22. 4. 29	44	白方 圭一	H. 3. 5. 8～H. 4. 6. 18
5	鈴木 次郎	S. 22. 6. 3～S. 24. 5. 30	45	高村 勲	H. 4. 6. 18～H. 5. 6. 23
6	松田 吉治	S. 24. 5. 30～S. 26. 4. 29	46	露木 友和	H. 5. 6. 23～H. 6. 6. 23
7	伊東 清五郎	S. 26. 5. 8～S. 27. 5. 26	47	宮澤 栄一	H. 6. 6. 23～H. 7. 4. 30
8	北山 善作	S. 27. 5. 26～S. 28. 6. 8	48	立石 忠	H. 7. 5. 11～H. 8. 6. 25
9	上杉 角雄	S. 28. 6. 8～S. 29. 6. 11	49	石井 孝一	H. 8. 6. 25～H. 9. 6. 24
10	高藤 忠男	S. 29. 6. 11～S. 30. 4. 29	50	勝又 国信	H. 9. 6. 24～H. 10. 6. 23
11	佐野 弥一	S. 30. 5. 17～S. 31. 5. 22	51	矢岸 克行	H. 10. 6. 23～H. 11. 4. 2
12	佐野 弥一	S. 31. 5. 22～S. 32. 6. 11	52	露木 友和	H. 11. 5. 13～H. 12. 6. 27
13	佐野 弥一	S. 32. 6. 11～S. 33. 10. 31	53	志村 肇	H. 12. 6. 27～H. 13. 6. 19
14	北山 善作	S. 33. 10. 31～S. 34. 4. 29	54	木内 光夫	H. 13. 6. 19～H. 14. 6. 25
15	北山 善作	S. 34. 5. 19～S. 35. 6. 29	55	落合 義朗	H. 14. 6. 25～H. 15. 4. 30
16	北山 善作	S. 35. 6. 29～S. 36. 3. 16	56	志賀 健治	H. 15. 5. 15～H. 16. 6. 22
17	増田 延男	S. 36. 3. 16～S. 37. 6. 26	57	森 一	H. 16. 6. 22～H. 17. 6. 21
18	高藤 忠男	S. 37. 6. 26～S. 38. 4. 30	58	細井 要	H. 17. 6. 21～H. 18. 6. 20
19	佐野 金吾	S. 38. 5. 16～S. 39. 6. 19	59	鈴木 正男	H. 18. 6. 20～H. 19. 3. 3
20	井坂 淳一郎	S. 39. 6. 19～S. 40. 6. 19	60	鈴木 勝彦	H. 19. 3. 12～H. 19. 4. 30
21	北山 善作	S. 40. 6. 19～S. 41. 6. 27	61	土屋 俊博	H. 19. 5. 16～H. 20. 6. 24
22	山口 春吉	S. 41. 6. 27～S. 42. 4. 30	62	八木 三雄	H. 20. 6. 24～H. 21. 6. 23
23	鈴木 文雄	S. 42. 5. 23～S. 44. 10. 7	63	足立 馨	H. 21. 6. 23～H. 22. 6. 29
24	高梨 公男	S. 44. 10. 7～S. 46. 4. 30	64	佐藤 晴	H. 22. 6. 29～H. 23. 4. 30
25	宮内 正雄	S. 46. 5. 24～S. 47. 6. 20	65	碓井 宏政	H. 23. 5. 18～H. 25. 6. 25
26	楠 半兵衛	S. 47. 6. 20～S. 48. 6. 21	66	土屋 俊博	H. 25. 6. 25～H. 27. 5. 15
27	秋山 要	S. 48. 6. 21～S. 49. 6. 28	67	松田 吉嗣	H. 27. 5. 15～H. 29. 5. 16
28	鈴木 利美	S. 49. 6. 28～S. 50. 4. 30	68	鈴木 文子	H. 29. 5. 16～H. 31. 4. 30
29	高木 武男	S. 50. 5. 19～S. 51. 6. 23	69	大房 正治	R. 1. 5. 15～R. 3. 5. 17
30	池田 博	S. 51. 6. 23～S. 52. 6. 28	70	川原 章寛	R. 3. 5. 17～R. 5. 4. 30
31	足川 貞	S. 52. 6. 28～S. 53. 7. 7	71	藤江 康儀	R. 5. 5. 15～
32	野知 俊夫	S. 53. 7. 7～S. 54. 4. 30			
33	松田 三男	S. 54. 5. 16～S. 56. 6. 24			
34	神戸 津秋	S. 53. 6. 24～S. 57. 6. 23			
35	橋本 義信	S. 57. 6. 23～S. 58. 4. 30			
36	神戸 津秋	S. 58. 5. 18～S. 59. 6. 26			
37	松田 三男	S. 59. 6. 26～S. 60. 6. 20			
38	橋本 義信	S. 60. 6. 20～S. 61. 6. 25			
39	添田 秀蔵	S. 61. 6. 25～S. 62. 4. 30			
40	山田 綾子	S. 62. 5. 14～S. 63. 6. 23			

Q 付 録

7. 姉妹・友好都市

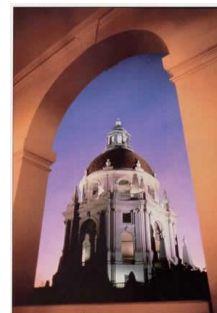
アメリカ合衆国カリフォルニア州パサディナ市

姉妹都市提携の経過

パサディナ市は、かねてより富士山が見える都市と交流したいと希望していた。

1957年4月に東京にあった「世界友の会」から姉妹都市縁組の提案を受けた両市は、慎重に検討し、文化都市、住宅都市としての形態に多くの共通点を認めた。

そして同年7月24日、パサディナ市の姉妹都市委員会初代委員長夫妻の来島により、三島市において姉妹都市縁組宣言式が行われた。日本全国でも4番目となる海外の都市との姉妹都市提携だった。縁組後65年以上経った今も、活発な人的交流や文化交流等が行われ、両市の結び付きはますます強くなっている。



パサディナ市の概要

パサディナ市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス市の北東14kmに位置し、面積61.5km²、人口約14万人である。また、サン・ガブリエル山脈のふもとに位置し海岸まで約1時間の距離にある。気候は、1年を通じて温暖である。

市制が施行されたのは1886年6月19日である。パサディナ市は、コンピュータや電気関連の大会社や金融機関が集まった商業地域である。その一方で教育・文化都市としても知られ、アメリカで多くのノーベル賞受賞の学者を生み出してきたカルフォルニア工科大学、コミュニティカレッジとしてはパサディナ市立大学等多くの教育機関がある。また、NASAジェット推進研究所があり、カルフォルニア工科大学との連携で宇宙探査衛星の追跡をしている。

毎年1月1日に開催される「ローズ・パレード」と、それに引き続き行われる大学アメリカンフットボール大会「ローズ・ボウル」はテレビ中継され、全米でも大変有名なイベントである。

近郊には鉄道王のヘンリー・ハンティントンの元邸宅で、シェイクスピアの蔵書で有名なハンティントン・ライブラリーがあり、多くの人が訪れる。

ニュージーランド・ニュープリマス市

姉妹都市提携の経過

1983年9月に、市内に住む4人の主婦が、中学校の教科書にのっている富士山にそっくりの山を見つけ、ふもとのまちであるニュープリマス市の市長に手紙を送ったことが交流のきっかけである。その後、主婦たちによるニュープリマスの人々との文通は、両市民が相互に訪問しあう人的交流にまで

拡大、発展した。1990年には三島市長が、それぞれ行政視察の途上でニュープリマス市を訪問し、姉妹都市提携に向けての話し合いを進め、1991年4月29日、三島市制施行50周年記念事業の一環として、三島市で姉妹都市調印式が行われた。また、ニュープリマス市でも定住150周年を記念して、同年5月27日に姉妹都市調印式を行った。



Q 付 録

ニュープリマス市の概要

ニュープリマス市は、ニュージーランド北島の西海岸に位置し、東西90km、南北65km、面積は2,205km²である。また、タラナキ州の州都であり、人口は約8万人である。1841年にニュージーランドへヨーロッパからの移民が居住し始めた。市の名前は、イギリスのプリマス市から多くの移民があったことに由来している。1949年に正式な市となり、その後大規模な行政区域変更の結果、ニュープリマス地区となり、現在に至っている。

ニュープリマス市の産業は、豊かな土壌を生かした酪農と、石油・天然ガスを利用したエネルギー事業の2つが基盤になっている。ここで作られた良質のチーズは海外に輸出されている。

中華人民共和国浙江省麗水市

友好都市提携の経過

三島市と麗水市とは、それぞれが所在する静岡県と浙江省が友好関係にあることから、三島市は浙江省内の都市と、麗水市は静岡県の富士山が見える都市と交流したいと希望していた。そのような中、静岡県を訪れた浙江省の代表訪日団により数回にわたり麗水市長から三島市長あての親書が届けられた。その後、両市の交流団体が相互に訪問し、親近感や理解が深まった。



アジア、とりわけ中国と友好関係を築くことは、日本の将来、世界の恒久平和にとって不可欠なことであるという21世紀への展望、また麗水市が「水と緑」という三島市と類似した自然環境を持っていることが縁となり、1996年4月に三島市長を団長とする公式訪問団が麗水市を訪問し、友好交流関係協議書に調印。

1997年5月12日には、再度三島市長を団長とする公式訪問団が麗水市を訪れ、友好都市提携締結協定書調印式を行い正式な友好都市となった。

しかし、2000年8月に行われた行政区画の移行により、従来の麗水市（人口約33万人）が麗水市蓮都区となり、その上の麗水地区が麗水市（人口約250万人）となったため、2001年8月15日に、三島市において、改めて新しい麗水市との友好都市提携を行った。

麗水市の概要

麗水市は、浙江省の南部、省都の杭州市から南へ約300kmに位置し、面積約17,300km²、人口約270万人である。1区・1市・7県の9つの地区で構成される。市政府は蓮都区にあり、昔から、浙江省南部の政治・文化・交通の要衝として栄えてきた。

豊かな自然に恵まれた麗水市は、国家級自然生態建設モデル地区にも指定されているほか、西暦500年頃につくられた省内最古の大型アーチダム水利施設の通済堰等、名所旧跡も多く有している。

気候は四季が非常にはっきりしており、亜熱帯モンスーン気候に属している。地形は四方が山に囲まれた盆地で、市の南側には浙江省第2の河川である甌江が悠々と豊かな水を湛えながら流れ、麗水という名にふさわしい山紫水明の景色を織りなしている。

近年は発展も目覚ましく、鉄道建設や機械・電力・食品・木竹加工・陶磁器・建築材料・化学工業・服装・製革・製薬・紡績等が主要工業として挙げられる。

Q 付 録

8. 市の都市公園

(令和6年3月現在)

名 称	位 置	種別	供用開始	面積 (ha)
1 楽寿園	一番町19-3	総合	S.31.10.15	7.84
2 白滝公園	一番町1-1	街区	〃	0.41
3 菰池公園	大宮町3-20-1	〃	〃	0.37
4 三ツ石公園	広小路町13-1	〃	〃	0.05
5 若宮公園	西若町8-7	〃	〃	0.08
6 長伏公園	長伏274-3	近隣	S.49.04.01	5.54
7 子供の森公園	字観音洞4704-800	風致	S.48.09.29	6.50
8 萩公園	萩829-1	街区	S.48.03.31	0.31
9 光ヶ丘公園	光ヶ丘21-2	〃	S.46.04.01	0.21
10 虹公園	光ヶ丘49-3	〃	S.46.04.01	0.20
11 さつき公園	谷田字梨ノ木山1982-2	〃	S.48.01.19	0.26
12 つつじ公園	谷田字梨ノ木山1997-1	〃	〃	0.11
13 つばき公園	谷田字石原山1969-5	〃	S.49.06.01	0.07
14 鶴見公園	谷田字新福寺山1950-1	〃	S.43.12.24	0.11
15 城山公園	字城山4042-7	〃	S.49.04.01	0.13
16 北沢公園	北沢53-1	〃	S.48.04.01	0.61
17 ひなた公園	芙蓉台1-21-14	〃	S.49.11.19	0.12
18 坂下公園	芙蓉台1-5-8	〃	〃	0.36
19 ふよう公園	芙蓉台2-1-11	〃	〃	0.15
20 あじさい公園	芙蓉台2-3-16	〃	〃	0.19
21 上岩崎公園	文教町2-3681-1	近隣	S.48.08.01	2.25
22 赤王山公園	大場字赤王山1086-61	街区	S.50.11.14	2.08
23 藤代公園	藤代町12-10	〃	S.42.04.01	0.09
24 御園公園	御園399	〃	S.51.04.01	0.25
25 はつね公園	初音台4-2	〃	S.52.07.05	0.25
26 うぐいす公園	初音台24-13	〃	〃	0.25
27 千枚原公園	千枚原8-14	〃	S.40.04.01	0.07
28 かも公園	加茂167	近隣	S.58.09.24	1.35
29 きじ公園	加茂168	街区	〃	0.30
30 もず公園	加茂169	〃	〃	0.25
31 旭ヶ丘公園	川原ヶ谷字君ヶ沢404-22	〃	〃	0.44
32 柳郷地公園	柳郷地192	〃	H.06.08.03	0.42
33 富士見台公園	富士見台38-1	〃	〃	0.58
34 富士見台第2公園	富士見台18-8	〃	〃	0.10
35 東大場公園	東大場1-33-8	〃	〃	0.64
36 まると公園	東大場1-33-3	〃	〃	0.44
37 みどり野公園	東壺町田4-3	〃	〃	0.17
38 三恵台富士見公園	三恵台16-3	〃	〃	0.43
39 三恵台公園	三恵台23-9	〃	〃	0.16
40 松が丘公園	松が丘1-7	〃	H.11.03.25	0.13
41 若松公園	字桐木4252-1	〃	〃	0.21
42 やまばと公園	佐野見晴台1-9	〃	〃	0.94
43 萩緑地公園	萩237-4	街区	H.12.09.22	0.01
44 サンヴェール若松公園	字四反田4264-4	〃	H.13.12.07	0.01
45 壺町田公園	壺町田80-23	〃	H.13.12.07	0.02
46 コイデ山公園	谷田字天台1325-46	〃	H.15.01.10	0.03
47 桐木公園	字桐木4613-59	〃	H.15.01.10	0.02
48 高台第2公園	徳倉2丁目149-67	〃	H.15.01.10	0.03
49 錦が丘公園	錦が丘4-23	〃	H.16.03.10	0.26
50 けやきの丘公園	錦が丘1-15	〃	H.16.03.10	0.37
51 夏梅木古墳公園	錦が丘1-6	〃	H.16.03.10	0.05
52 神川公園	加茂川町3884-7	〃	H.16.03.30	0.01
53 シャリエ壺町田公園	壺町田104-5	〃	H.16.03.30	0.01
54 みかづき公園	沢地35-1	〃	H.17.03.31	0.04
55 小山橋公園	谷田字小山18-17	〃	H.17.03.31	0.01
56 やまざくら公園	錦が丘19-11	〃	H.17.03.31	0.12
57 片平山公園	佐野見晴台2-19-7	〃	H.17.03.31	0.47
58 記念碑公園	大場字大明洞1008-9	〃	H.18.03.02	0.01
59 三島測候所記念公園	東本町2-790-19,21	〃	H.20.10.1	0.10
60 向山古墳群公園	北沢320-2	歴史	H24.4.1	1.82
61 中郷温水池公園	富田町267-2外	〃	H29.9.1	1.25
62 加茂緑地	加茂地内	都市緑地	S.51.12.22	0.60
63 水の苑緑地	南本町、緑町、南町地内	〃	H.04.06.22	0.63
64 三島墓園	字観音洞4704-580	墓園	S.51.09.30	0.34
都市公園の合計の面積				41.63

(資料/みどりと水のまちづくり課)

Q 付 録

9. 文化財及び史跡の状況

令和6年3月31日現在

指定区分	種別	名称	員数	所在地	指定年月日	
国指定	国(工芸品)	梅蒔絵手箱	1具	大宮町	昭和27年11月22日	
	"	薙刀 銘備前国長船住人長光造	1口	中田町	昭和32年2月19日	
	重文(絵画)	絹本着色日蓮上人像	1幅	玉沢	大正8年8月8日	
	"	絹本着色十界勸請大曼荼羅図(絵曼荼羅)	1幅	"	大正9年4月15日	
	重文(彫刻)	木造大日如来坐像	1軀	中田町	明治32年8月1日	
	重文(工芸品)	短刀 表ニ三島大明神他人不与之 裏ニ貞治三年藤原友行 ノ銘アリ	1口	大宮町	明治44年4月17日	
	"	太刀 銘宗忠	1口	"	明治45年2月8日	
	"	脇指 銘 表ニ相模国住秋義伊豆三島大明神 裏ニ奉拝佐藤松千代貞成	1口	"	大正9年4月15日	
	"	太刀 銘長元	1口	中田町	昭和27年3月29日	
	"	秋草文黒漆太刀拵 中身銘豊後国行平作	1口	"	昭和28年11月14日	
	"	刀 朱銘義弘(名物松井郷) 本阿(花押)	1口	"	昭和29年3月20日	
	"	短刀 銘国光	1口	"	昭和32年2月19日	
	"	刀 金象嵌銘備前国兼光(名物大兼光) 本阿弥(花押)	1口	"	昭和34年6月27日	
	"	刀 無銘正宗	1口	"	昭和36年2月17日	
	重文(書跡)	注法華經(開結共) 日蓮自注	10巻	玉沢	昭和27年7月19日	
	"	撰時抄 日蓮筆	5巻	"	"	
	"	般若心經(源頼家筆)	1巻	大宮町	平成6年6月28日	
	重文(古文書)	三嶋大社矢田部家文書	592通	"	"	
	重文(建造物)	三嶋大社本殿、幣殿及び拝殿	1棟	"	平成12年5月25日	
	史跡	山中城跡 (98,183.00㎡) (19,673.91㎡ 追加指定)	1遺跡	山中新田	昭和9年1月22日 昭和53年3月20日	
	"	伊豆国分寺塔跡	1遺跡	泉町	昭和31年5月15日	
	"	箱根旧街道 (錦田一里塚) (箱根旧街道 追加指定)	1遺跡	三島市・箱根町・函南町	大正11年3月8日 平成16年10月18日	
	天然記念物	三島神社のキンモクセイ	1本	大宮町	昭和9年5月1日	
	"	楽寿園 (小浜池:岩石の組成、硫気孔及び 火山活動により残された地質鉱物)		一番町	昭和29年3月20日	
	名勝	楽寿園 (小浜池:岩石、湧泉の景観)		"	"	
	国認定	重要美術品	脇指 銘相模国住人廣光 康安二年十月日	1口	中田町	昭和12年12月24日
	国認定	重要美術品	太刀 銘 因州住景長	1口	中田町	昭和26年10月19日
県指定	絵画	紙本着色白隠自画像	1幅	沢地	昭和45年6月2日	
	"	楽寿館・楽寿の間絵画	210面	一番町	昭和55年11月28日	
	彫刻	木造阿弥陀如来立像	1軀	—	平成25年11月19日	
	工芸	刀 銘莊司筑前大掾大慶藤直胤(花押) 天保二年仲秋イツ(刻印)	1口	大宮町	昭和41年3月22日	
	"	刀 銘繁慶	1口	中田町	昭和41年2月7日	
	"	刀 銘表越後幕下士大村加ト慰指図鍛冶欲聞 九 百年中之物語 裏正保三 二月吉日予非鍛冶真十五枚 甲状 有不折不卷之徳	1口	中田町	昭和33年4月15日	
	"	三十六歌仙図刺繍額	12面	大宮町	平成27年3月13日	
	典籍	聚分韻略	1冊	文教町	昭和52年3月18日	
	"	日本書紀並びに具書	6巻6軸	大宮町	昭和55年11月28日	
	史跡	向山古墳群 (1~15号墳) (16号墳 追加指定)	1遺跡	谷田・北沢	平成11年3月15日 平成28年3月18日	
	天然記念物	御嶽神社の親子モッコク	2本	青木	昭和46年3月19日	
	無形民俗	三嶋大社のお田打	—	大宮町	昭和47年3月24日	
	"	三島囃子	—	川原ヶ谷	平成3年3月19日	

Q 付 録

9. 文化財及び史跡の状況(つづき)

令和6年3月31日現在

指定区分	種別	名称	員数	所在地	指定年月日	
市指定	絵画	小沼満英筆 三島宿風俗絵屏風	6曲1双	芝本町	昭和41年2月7日	
		栗原忠二画「月島の夕」	1点	一番町	昭和55年10月8日	
		梅御殿装飾絵画	6点10面	〃	平成3年3月4日	
		下田舜堂画「朝焼けの富士」	1点	北田町	平成5年3月4日	
		下田舜堂画「小浜池」	1点	〃	〃	
		細井繁誠画「月と芋畑」	1点	大宮町	平成7年3月1日	
		杉本英一画「絵画教室」	1点	〃	〃	
		芹沢晋吾画「農夫」	1点	〃	平成19年1月10日	
		大沼貞夫画「日輪ポロブドゥール幻想」	1点	〃	平成22年3月10日	
		大沼貞夫画「魔性と仏性(ポロブドゥール考)A・B」	2点	一番町	〃	
		彫刻	金剛力士像(阿形像、吽形像)	1対	玉沢	昭和57年2月23日
			光安寺 鼻取り地藏	1躯	日の出町	昭和62年3月19日
		工芸	龍澤寺隠寮内入江長八鍔細工	—	沢地	昭和41年2月7日
	織部どうろう		1基	南本町	〃	
	三四呂人形		24点	一番町	昭和58年10月7日	
	典籍	追加指定	12点	一番町	平成18年1月11日	
		河合家所蔵 三嶋暦及び同版木並びに関係文書	314点	大宮町・一番町	昭和41年2月7日	
		追加指定	83点	一番町	平成18年1月11日	
		追加指定	31点	〃	令和5年11月29日	
		秋山家所蔵 秋山富南古文書 原本豆州志稿他7	20冊・1枚	安久・一番町	昭和43年10月1日	
		樋口家所蔵 三島宿本陣関係史料	68冊	一番町	昭和45年2月14日	
		世古文書	11冊附書簡	相模原市・一番町	平成14年3月1日	
		落合家文書「天正十八年『豆州君澤郡中嶋郷御縄打水帳』外地方文書」	436点	一番町	平成21年10月15日	
		接待茶屋関係文書	10点	〃	平成23年3月9日	
		古文書	天正十八年 豊臣秀吉掟書	1点	〃	平成25年3月6日
	考古資料	市ヶ原廃寺塔心礎	1基	大社町	昭和41年2月7日	
		光安寺板碑	1基	日の出町	平成2年3月6日	
		向山古墳出土遺物(鉄製品)	41点	大宮町	平成3年3月4日	
		吊手土器	1点	〃	平成4年3月3日	
		箱根田遺跡出土祭祀関係遺物	70点	〃	平成15年5月8日	
	歴史資料	扁額「三島鬘」	3点	一番町・東町	平成9年3月5日	
		「豆州伊豆佐野村」絵図	1点	佐野	平成12年3月1日	
		花島家資料	136点	一番町	平成15年5月8日	
		接待茶屋関係調度品大茶釜外3点	4点	〃	平成23年3月9日	
	建造物	三嶋大社 舞殿、神門及びそれに属する彫刻	2棟	大宮町	昭和41年2月7日	
		玉澤妙法華寺庫裡	1棟	玉沢	〃	
		楽寿園内楽寿館	1棟	一番町	昭和49年11月20日	
		玉澤妙法華寺中鐘楼	1棟	玉沢	昭和54年12月1日	
		円明寺表門(伝樋口本陣表門)	1棟	芝本町	昭和63年1月21日	
		経王山 妙法華寺伽藍 大書院・本堂・祖師堂・奥書院・中門・忠霊殿	6棟	玉沢	平成15年5月8日	
		禅叢寺鐘楼門	1棟	玉川	平成22年3月10日	
		史跡	千枚原遺跡	1遺跡	千枚原	昭和46年5月4日
天然記念物		愛染院跡の溶岩塚	—	一番町	昭和41年2月7日	
		神明宮神社社叢	境内	御園	昭和60年11月11日	
	中のカシワ	1本	中	〃		
	願成寺 クス	2本	川原ヶ谷	〃		
	耳石神社 イタジイ	1本	幸原町	〃		
	三嶋大社社叢	境内	大宮町	平成3年3月4日		
	矢立の杉	1本	山中新田	平成4年3月3日		
	鏡池横臥溶岩樹型	1箇所	一番町	平成26年10月9日		
	白滝公園溶岩塚	1箇所	一番町	令和元年10月22日		

(資料:文化財課)